

大蔵中だより

10号（令和5年12月20日）

北九州市立大蔵中学校長 古閑 明子



校訓

自律 自ら考えて判断し、責任をもって行動しよう
創造 自分の力を信じ、新しいものを生み出そう
奉仕 勤労を喜び、社会のために役立つ人になろう

◆いのちの贈りもの ～ドナーと共に生きる～

11月30日（木）、ピアニストの児嶋由紀先生を講師にお招きして、人権教育講演会を実施しました。ご自身の献腎移植体験を、ピアノ演奏と共にお話していただき、一人一人がいのちの主人公であるということ等を、改めて認識する機会となりました。皆、真剣に話を聞いており、それぞれの感想からも「命の大切さ」について深く考えさせられたことがわかりました。

講演の最後には、お礼に、吹奏楽部が、打楽器八重奏『ソナチネ』の素晴らしい演奏を披露してくれました。児嶋先生はとても喜ばれ、全校生徒も聞き入っていました。

◎児嶋さんの力強く生きる姿勢を見て、私も力強く生きたいと思いました。私も勉強や生活の中で、やっぱり「嫌だな」「面倒くさい」「楽したい」と思うことがあります。でも、今日のお話を聞いて、私の命を必要としている人が世の中にたくさんいることがわかったので、もう少し何事にも前向きに取り組みたいです。（1年生の感想より）

◎臓器移植のおかげで救えた命があり、たくさんの病気で苦しむ人たちの大きな希望なのだとということがわかりました。ピアノ演奏を聴いた時、こんなにも生き生きとしていて、美しい演奏を私たちが聴いていることで、直接ではないかもしれませんが、ドナーの方、児嶋先生、そして私たちの命をつないでくれているように感じました。（2年生の感想より）

◎今日の講演会で「普通に生きていることが普通ではなく、すごいことだ」ということがわかりました。自分の命が他の人の中で生き続けるということのすごさや大切さがわかり、その1つの判断が絶望から希望に変わるなど、自分にもしそういう機会があったらどういう判断をするのか考えさせられました。今後、友達や自分を大切に、自信をもって生きていこうと思いました。（3年生の感想より）



◆性暴力について知る ～中学校性暴力対策アドバイザー授業～



11月29日（水）、福岡県性暴力対策アドバイザーの方を講師にお招きして、「性暴力を知る」ことの授業をしていただきました。

- 「境界線」の話
 - 性暴力ってどんなこと？
 - もし性暴力にあったら
 - 性暴力って何で起こるの？
- についてのお話を通して、【自分や周りのひとを大切に】ということについて、深く考えさせられました。

最後に、「あなたの体はあなたのもので、ほかのだれのものでもない。だから、自分がどう行動するかは、自分が決めていい。みんなその権利を持っている。」と言われていたことが印象的でした。このことをいつも心に留めておきましょう。

◆様々な人権課題について考えよう ～12月4日（月）～8日（金）人権週間の取組～

朝自習の時間に、『明日への伝言板』を視聴し、感想を書きました。5つのテーマについて、よく聞いて、自分の考えを書いています。